

【様式】

令和6年度 敦賀高等学校 学校評価書

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
1. 教育課程・ 学習支援	a.令和6年度の教育課程を円滑に実施する。 目標:学習状況調査における、「㉓選択した教科・科目の授業について」(R5 71%)、「㉔自分の考えを他の人に説明したり」(R5 76%)それぞれの項目にお b.教科主任・授業力向上リーダー・探究学習推進リーダーを中心に、生徒の自律的な学びを促す、デジタル教材を活用した「個別最適な」授業実践の研究を推進する。 目標:R6年度学校評価アンケートにおける「公開授業は」の項目でプラス評価	学習状況調査における「㉓選択した教科・科目の授業について、その内容はあなたにとっておもしろいですか(興味をひきますか)」は70.3%で未達成。「㉔自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりして、表現することをよく行っている」は85.2%で目標を達成した。 学校評価アンケートにおける「公開授業は役に立ったか」という問いに対する回答のうち93%がプラス評価であり目標を達成した。一方で実際に「デジタル教材を活用した個別最適な学習」を主軸に置いた実践の数は少なく、運営からの働きかけが十分でなかったと振り返っている。	生徒の主体性を引き出す授業改善を行っていくために、今年度大幅に数値が改善した「表現活動」が、「おもしろい」と結びつくように、クラスの状況や習熟度に合わせて、導入の工夫を行ったり、授業の構成を再度考え直したりする必要がある。
2. 生徒支援	a.委員会活動の充実を図り、生徒が主体的に学校生活を送っていく支援を行う。目標:Instagram投稿数年間100回以上。 生徒対象学校評価アンケート内の「敦賀高校のホームページやInstagramを」の項目において、「よく見る」、「ときどき見る」の合計が75%以上 b.けじめある生活習慣を確立し、学力の向上と部活動の振興を目指す。目標:18:30時完全下校を徹底し、生徒の学習時間、休養を確保する。学校評価アンケート内の「学業と部活動の両立」の項目80%以上。(R5 69%)	Instagramのフォロワー数は、令和5年度末で600人から令和6年度末1100人と大幅に増加した。年間の投稿数は73回で、目標であった100回には届かなかったが、敦賀高校の行事や部活動など、生徒の活躍をタイムリーにアップすることができた。また、生徒会が中心となって、新しい企画を考えることができ、能登復興支援の寄付金を送ることもできた。 学校評価アンケートの「学業と部活動の両立」の項目において、生徒73%(昨年度比+5)、保護者82%(昨年度比+7)という結果であった。単元テストが重ならないように教科間の調整が昨年よりうまく機能していた。18:30の完全下校については、生徒、教員、保護者すべてにおいて90%を超えて達成していると考えられている。	生徒会と支援部の担当で情報共有を密にし、web版青雲に載せる原稿をより素早く公開し、充実させていきたい。委員会活動をさらに活性化させるために、次年度は、LT委員が主体となったLT企画を計画的に実施していきたいと考えている。
3. 保健・教育 相談	a.生徒自ら心身の健康管理ができるように支援する。 目標:保健関係の通信を月2回以上発行、掲示物を月1回作成。 b.毎月のこころからのアンケートの実施、2分間面談等から特に悩みを抱える生徒について早期発見対応、面談等を継続し、支援を図る。 目標:学教評価アンケートの「相談したいことがあるとき先生に相談することができた」の回答90%以上。(R5 89%)	今年度は、学校評価アンケートにおいて生徒92%(昨年度比+1)、教員98%(昨年度比+1)が感染予防や健康管理ができたと答えており、高い水準を保っている。通信や掲示物を通じて、健康情報をタイムリーに発信したことや、教科担任が教室内の換気にも気を配ってくれたことも大きな要因である。 学校評価のアンケートから「相談したいことがあるとき先生に相談することができた」と回答した生徒は92%(昨年度比+3)で目標を達成できた。こころからのアンケートの相談したい相手の項目を共有し、早期に相談できる体制ができた。保健室、教育相談、スクールカウンセラーとの面談も多く利用され、生徒だけでなく保護者や担任と面談をもった。専門家としての見立てやアドバイスをしてもらうなど、大きな支えとなった。	今年度、廊下やトイレなどで清掃の不足があった。普段の清掃指導をしっかりと行う必要がある。また、周囲の衛生環境を整えることで、健康安全に対する意識の向上を図りたい。 保健LTでは、性と命について講演を行った。生徒たちはしっかりと考えることができた。 今年度はリモート授業に監督が配置されたため、教育相談担当が、生徒の状況把握や面談計画等に注力することができた。リモート授業を受ける生徒の長期化を解消し、教室復帰を促すためにも、定期的に保護者や生徒と面談するシステムを構築する必要がある。さらに次年度は、教育相談の時間をきちんと設けるなど、システムを変えていく必要がある。また、学年や教科担任との連携をもっと深めていくことで、生徒に必要な支援の方向性を検討していく。
4. 防災・安全・ 設備管理	a.施設設備の保全と営繕に努め、特別な支援が必要な生徒にも配慮しつつ、安全性を備えた安心感のある施設環境を確保する。 目標:危険箇所・施設設備点検を毎学期実施し設備保全に努める。教室の机・椅子の修繕率8割	・危険箇所の把握や施設設備点検を、年間3回(5月・9月・1月)実施し、迅速な対応に努めた。清掃監督場所ごとに点検を依頼したため、点検箇所の漏れは生じていない。 ・破損箇所や故障した備品については、事務室および校務員室と連携を取りながら速やかに修理修繕を行った。	・危険箇所ならびに施設設備点検は前期・後期とも数回に分けて実施し迅速に対応する。危険箇所の報告・集約には引き続きGoogledrive(スプレッドシート)を活用したい。 ・机・椅子については、耐用年数を超えて使用しているものが多く、修繕も困難なため、新規購入による入れ替えを今後も計画的に進めていく。

5. 進路支援	<p>a. 全学年を通じて、Classiを活用した基礎学力を促進し、特に1, 2年次の学力向上を図る。進学・就職ともに第一志望の早期設定と継続的な面談を実施する。また、キャリアガイダンスやインターンシップを通じ望ましい勤労観育成を図る。 目標: 3年4月の第一志望校合格率65% (R5 48.8%)、就職公務員100% (R5 就職)</p> <p>b. 探究活動や校外活動、進学・就職に関する情報について、生徒・保護者に対して、キャリアに関する情報をClassiやclassroom等を活用し情報発信を実施する。 目標: 情報提供に満足している: 90%以上 (R5保護者: 進学72%、就職84%)、進路に関する情報を得ることができた: 90%以上 (R5生徒:</p>	<p>本年度の3年生は、2年次の秋に進路設計に関するスライドを作成し、本校教職員との面談を実施し、生徒自身が進路志望について見つめ直すきっかけを設けた。3年次5月末段階の第一志望校合格率は46.4% (昨年度比-2.2)、受験率については60.2% (昨年度比-4.7)とやや減少した。就職については、民間就職の第一志望企業合格率が95.4% (昨年度比+3.1)、公務員の内定率が91.6% (昨年度比+8.4)であった。</p> <p>保護者対象のアンケートにおいて、「進学関係の情報提供に満足している」が84% (昨年度比+12)と大きく上昇した。「就職関係の情報提供・指導に満足している」が82% (昨年度比-2)と、昨年度とほぼ同じ数値であった。また生徒において「進路に関する情報を得ることができた」が95% (昨年度比+2)と年々微増してきている。また、「進路に関するガイダンスや説明会が役に立った」についても目標には届かなかったが、</p>	<p>令和6年度については2年次の夏より進路設計に関するスライド「マイキャリアストーリー」を作成している。さらに、令和7年度については「夢へのパスポート」からのつながりを考え、1年時の夏より上述のスライド作成をスタートする予定である。就職については、高い合格率を維持しているため、次年度もこれまでと同様に進路支援を継続している予定である。</p> <p>今年度、Classiを通じて昨年度よりも多く、進路に関する情報を保護者に伝えてきた。生徒にST等で伝えている進路情報(大学等主催企画や県の進学セミナーの案内)を改めて保護者に伝えたり、対面式の進路講演会・説明会を行ってきたりした。進路情報について、満足度の高い生徒・保護者は一定数いるため、次年度以降も今年度と同様、情報提供を進めていく必要がある。</p>
6. 探究開発	<p>a. 生徒各自が設定したテーマに基づいた対話や実践を通して、探究学習の手段や方法を理解するとともに、探究力を養う。目標: 振り返りアンケートにおける「探究関係」の項目において全学年でプラス評価90%以上</p> <p>b. 校内研修を企画し、運営する。目標: 研修後アンケートにおいて先生方の満足度80%以上。ウェルビーイング調査において教師効力感上昇率20%以上。</p>	<p>学校評価アンケートにおける「総合的な探究の時間は有意義なものでしたか?」という質問に対しては97%がプラス評価をしていた。探究学習プログラム後に回収した自己振り返りにおける「学校生活充実度」、「協働性」、「考え抜く力」、「チャレンジ精神」の項目において全学年、全クラスでプラス評価90%以上を達成した。</p> <p>今年度「ウェルビーイング調査」を福井県教育委員会が主導したため、重複した調査を実施することによる負担増を避けるために、ウェルビーイング調査は未実施。研修後アンケートによる満足度は全体研修82%、年代別研修が85%と目標を達成した。</p>	<p>今年度実施した探究学習プログラム後の振り返りアンケートでは高い満足度を得ることができたが、子の振り返りはあくまで生徒の自己評価であるため、今後今よりも客観性のある振り返りの方法を模索し、生徒の実際的な成長をとらえ、日々の学習支援、生徒支援、進路支援等に活かしていきたい。</p> <p>研修に対する評価はいずれも目標を達成しているが昨年度と比較するとその満足度は大きく劣後している。今年度新たに始めた年代別研修「メンター制」をより効果的なものにするために、実施期間や報告の方法を見直す等の改善を図りたい。</p>
7. 図書情報	<p>a. 図書館オリエンテーションや朝読書などの読書指導の充実を図り、読書習慣の啓発に努める。目標: 生徒年間図書貸出冊数2,000冊以上。(R6.3月現在1,453冊)</p> <p>b. 各部署との連携を図りながら、敦賀高校ホームページを通じて、敦賀高校の取り組みや魅力を発信する。目標: ホームページ保護者内容満足度80%以上。</p> <p>c. 学科説明会、オープンスクール等を通して、選ばれる高校を目指す。目標: 高校説明会、学科説明会、オープンスクールにおいて中学生・保護者の満足度90%以上。</p>	<p>今年度年間図書貸出し冊数は1033冊にとどまり、目標達成に至らなかった。後期以降、「学年文庫」、「昼休憩中の図書館開放」等の手立てを講じたかが、貸し出し冊数を増やすための十分な取り組みとはならなかった。</p> <p>学校評価アンケートにおける「敦賀高校のホームページに満足していますか?」という項目に対してプラス評価が94%で目標を達成した。</p> <p>学科説明会、オープンスクール、入試説明会等、いずれの入学奨励行事においても、中学生・保護者の皆さまから90%を超えるプラス評価得ることができ、目標を達成した。</p>	<p>生徒の読書離れが加速している中、まずは本に触れる機会を増やすために、来年度は「図書館への来館者数」を増やすことに重点を置き、今年度の取り組みに加え、探究学習などでの図書館利用や、進路支援、学校行事での資料提供などを通して、図書館活用を広く呼びかける。</p> <p>ホームページでの情報の公開と蓄積に努めながら、校内の情報収集をより円滑に行う。また、より見やすいレイアウトになるよう工夫し、タイムリーな内容のコンテンツを掲載することを心がけ、継続して見たいくなるようなホームページを作成するよう心がける。</p> <p>今年度はオープンスクールで探究学習の中間報告をご覧いただく機会を提供したところ、昨年度以上に満足度が向上した。次年度は実際の授業の一部を体験できる取り組みを行い、さらに満足度の向上を図り、選ばれる学校を目指す。</p>